

夏季に出荷できる品目

屋久島パッションフルーツ出荷始まる

「6月上旬」屋久島町でパッションフルーツの出荷が始まりました。

屋久島パッションフルーツは、島外からの観光客の入島が多い夏季に出荷販売できる品目として力を入れています。

温暖な気候を活かし、暖房機などの燃料施設は使用せず、栽培環境やパッションフルーツ本来の「果実の色・独特の風味」を重視した栽培を行っています。

生産者は45人、栽培面積1.6ha、13tの出荷を見込んでおり、7月に出荷最盛期を迎え、8月下旬まで続きます。

新型コロナウイルスの影響もあり、店舗での試食宣伝販売などの販売促進への取り組みが難しいことから、少量購入ができるパック販売等の取り組みや、ギフト商品への対応など消費形態に柔軟な対応ができる販売戦略の見直しに取り組んでいます。



良質米生産に向け

早期米航空防除実施

「6月中旬～下旬」種子島では、カメムシ類やイモチ病・紋枯病が発生する時期を迎え、島内各地で早期米「種子島産コシヒカリ」の航空防除が行われました。

田んぼの両端に操縦者と、指示を出す人の2人で無線交信しながらヘリによる空からの防除を実施しました。また、一部地域では、試験的にドローンによる農薬散布も行われました。

近年、農薬散布に小型無人機のドローンが注目されています。農薬タンクの容量はヘリと比べると劣るものの、持ち運びや小回りが利くことが利点です。

7月中旬には収穫を迎える早期米「種子島産コシヒカリ」の銘柄確立に向け、現場における省力化等に大きく寄与することが期待されます。



価格回復の兆し

6月子牛せり市

「6月22～23日」6月の子牛せり市が種子島家畜市場で開催され、467頭が取引されました。

平均価格は、64万7千981円となり、新型コロナウイルスの影響により価格低迷が続いていましたが、前回比で、去勢8万6千658円高、めす6万6千201円高と上昇し、回復の兆しが見られました。

6月せり市の結果は、次ページに掲載しています。

